

否定・強調・倒置・省略の見取り図

年 組 番 名前 _____

この紙のゴール：否定語句を文頭に出し、そのあとを疑問文の語順にできる

基礎を固めるクラス 偏差値のめやす 40～50程度 否定と強調に加えて、否定語句が文頭に出たときの倒置まで

気づき AとB、日本語にするとどちらも「みんなが賛成した、とは言えない」に見える。でも意味は正反対。どこがちがう？ (30秒考えて、となりの人と答え合わせ)

A	Not all of the members agreed with the plan.	部員全員がその案に賛成したわけではない。 (賛成した人もいる)
B	None of the members agreed with the plan.	部員はだれひとり賛成しなかった。(賛成した人はいない)

決め手はnot のとなりに何があるかです。Aは not と all がとなり合っているので、打ち消しているのは「賛成した」ではなく「全員」のほう—だから「全員ではない＝何人かは賛成した」になります。Bの none は数そのものをゼロにしているので、賛成した人はいません。日本語の「みんな～ない」はどちらにも読めてしまうので、英語では形で決める必要があります。

整理 5つのわざ (倒置まで)

形	作り方	表すこと	例文
部分否定	not + all / every / always / both	全部が～というわけではない	Not all birds can fly. すべての鳥が飛べるわけではない。
全否定	no + 名詞 / none of ... / never	ひとつも～ない	None of my friends knew it. 友だちはだれも知らなかった。
強調構文	It is + 強調語 + that ... (人は who も)	～なのは…だ	It was my sister that called. 電話をくれたのは姉だった。
語で強調する	do / does / did + 原形 / the very + 名詞	本当に～なのだ／まさにその	I do want to go with you. 本当にいっしょに行きたい。
否定語句の倒置	否定語句 + 疑問文の語順	打ち消しを前に出して強める	Never have I been so nervous. あんなに緊張したことはない。

ここから高校の新しいところです。Never / Little / Rarely / Only after のような否定の語句を文頭に出すと、そのうしろは疑問文の語順になります (Never have I been ...)。英語は位置が役割を決めるので、前に出す代わりに語順で目印を立てる、と考えてください。倒置は強い言い方なので、話し言葉では I have never been so nervous. のほうがふつうです。書くときの武器として覚えておきます。

確認 () 内から正しいほうを選ぼう。 **知識・技能**

- (1) I am (none / not) always free on Sundays.
- (2) (It / That) was my sister that found my wallet.
- (3) I (much / do) want to join the team, but I have no time.
- (4) (Sometimes / Never) have I seen such a long line.

否定・強調・倒置・省略の見取り図 | 解答とつまずきポイント

確認の解答

(1)	not	not always = 「いつもというわけではない」。never なら「一度もひまではない」になる。
(2)	It	It is + 強調したい語 + that。ここでは「見つけたのは姉だ」と、だれかを前に出している。
(3)	do	動詞を強めるのは do + 原形。思いこみの打ち消しによく使う。
(4)	Never	否定語句を文頭に出したら、うしろは疑問文の語順 (have I seen) 。

つまずき① 部分否定を全否定として読む

not のとなりに all / every / always / both があれば、打ち消されているのは**その語**です。「全部ではない」だけで、「ゼロだ」とは言っていません。

× Not everyone in the club came, so the meeting was canceled. → ○ No one in the club came, so the meeting was canceled.
「全員が来たわけではない」なら何人かは来ているので、中止の理由にならない。ゼロなら No one。

つまずき② 日本語の「みんな～ない」をそのまま All ... not で書く

All the students did not pass. はどちらにも読めてしまうので避けます。「何人かは受かった」なら Not all、「ゼロ」なら None of と、最初から形で言い分けてください。

× All the members of my class did not agree with the plan. → ○ Not all the members of my class agreed with the plan.
「全員が賛成したわけではない」と言いたいなら Not all を文頭へ。ゼロなら None of the members agreed。

つまずき③ 否定語句を前に出したのに語順を戻さない

前に出すには代償が要ります。Never / Little / Rarely / Only after を文頭に置いたら、うしろは**疑問文の語順**に。

× Never I have heard such a strange story. → ○ Never have I heard such a strange story.
Never を前に出した代わりに、have を主語の前へ。倒置しないなら I have never heard ... と元の位置に戻す。

授業のひとつ 導入は Not all と None の2文だけで十分です。そのあと1分、教科書の本文から not のある文を2つ選ばせてください—not のとなりの語に○をつけるだけで、どこが打ち消されているのかが目で見えるようになります。

